

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：財務課
担当名：財産管理担当
内線：6648
(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N57	県立学校グラウンド整備事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校建物等維持管理費	
事業期間	平成20年度～	根拠法令	なし			針路分野施策	05 未来を創る子供たちの育成 0504 質の高い学校教育の推進	SDGsゴール 4 SDGsターゲット 4-a	
1 事業の概要 経年劣化や使用による劣化が著しいグラウンドについて、学校活動に支障が生じないよう改修を行う。 区画整理事業により都市計画道路が拡幅されることに伴い、拡幅予定地に設置されている学校の物件を移設する。また、区画整理事業によって減歩されることで教育活動に支障がでることから、保留地を購入する。 ア 区画整理地内整備事業 △14,620千円 委託料が見込みを下回ったこと等による減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 流出した表土の補充・整正によるグラウンド整備工事を実施し、生徒の怪我の原因となる浮き石や凹凸、降雨後のグラウンド使用の支障となる水はけの悪さ、砂塵の発生等を改善する。 その他学校教育活動や部活動に支障のないよう整備を行う。 (ア) 高等学校グラウンド整備事業 6校 112,329千円 (イ) 特別支援学校グラウンド整備事業 1校 7,000千円 イ 区画整理事業により都市計画道路が拡幅されることに伴い、拡幅予定地に設置されている学校の物件を移設するための設計を行う。また、区画整理事業により、学校用地が減歩されることで教育活動に支障が出ることから、保留地の購入を行う。 (ア) 区画整理地内整備事業（設計） 3校 19,817千円 (イ) 区画整理地内整備事業(保留地購入) 1校 228,961千円 (2) 事業計画 グラウンドは経年劣化するため定期的な改修や修繕が必要であるため、全ての県立学校を計画的に改修する。 また、区画整理事業により都市計画道路が拡幅されることに伴い、拡幅予定地に設置されている学校の物件を移転する。 (3) 事業効果 生徒が安心して安全に授業や部活動が行える環境を整備する。 令和 4年度 グラウンド整備工事 7校(鶴ヶ島清風高、春日部女子高、蕨高、与野高、坂戸高、越谷東高、本庄特支) 芝設置工事 4校(本庄特支、所沢高、川口北高、久喜特支) 令和 3年度 グラウンド整備工事 5校(和光国際高、伊奈学園総合高、滑川総合高、川口青陵高、塙保己一学園) 令和 2年度 グラウンド整備工事 5校(豊岡高、北本高、本庄高、八潮南高、羽生ふじ高等学園)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		県 債							
決定額	△14,620	△13,000						△1,620	368,107
現計額	382,727	378,000						4,727	

事業内訳書

事業名	県立学校グラウンド整備事業		
単位事業名	区画整理地内整備事業	予算額	△ 14,620千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・教育債	△13,000	—	県立高等学校建設事業債
一般財源	△1,620	—	
合計	△14,620	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△16	—	執行留保等による普通旅費の減
需用費	△4	—	執行留保等による消耗品費、印刷製本費の減
委託料	△14,585	—	見込を下回ったことによる設計費の減
使用料及び賃借料	△15	—	執行留保等による減
合計	△14,620	—	